

第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート【区分①：自立支援、介護予防、重度化防止】

項目名	取組テーマ (リストから選択)	第9期目標				R6年度(2024年度)実績				
		目標設定時点における現状と課題	具体的な取組	目標	計画記載 ページ	実施内容	目標達成状況・自己評価	達成 度合	課題 (目標の達成状況に関する理由や原因等)	課題に対する改善策 (R6年度(2024年度)以降)
いきいきと暮らすことができるまち	1 高齢者が元気で活躍する社会の実現と自立支援の促進(地域・社会活動、就労、いきがい、健康づくり、介護予防、地域リハビリテーション、地域包括支援センター、地域生活、見守り)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者人口は平成28年をピークに減少しているが、年少人口や生産年齢人口も減少し続け、現在の高齢化率45.6%が2040年には57.5%となり、それ以降も年々増加していく見込み。 ・要介護のリスクが高まる後期高齢者割合の上昇が見込まれる中で、後期高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防の取組が重要となる。 ・週1回活動する「住民主体の通いの場」は25箇所と町内全域になりつつあるが、参加者の減少や固定化が課題。 ・町内23行政区のうち、実施していない2地区での開催を目指すとともに、介護予防サポーター等の活動による自主運営強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が自発的な介護予防の取り組みができるよう、「住民主体の通いの場」の活性化のため、①専門職による出前講座②介護予防サポーター等の活用③体操などの効果を示すいきいきファイル等を活用し、健康づくりの推進を行う。 ・また、継続的活動のための支援も行う。 	開催箇所数 27箇所 参加者数 250人	P73	<ul style="list-style-type: none"> ・2行政区区長に対し、「住民主体の通いの場」の支援について説明 ・専門職による出前講座の周知と実施 ・町職員等による百歳体操以外の体操や体力測定、基本チェックリスト等を実施 ・活動補助金の交付(月額3,000円) ・専門職による体力測定結果説明や指導 ・通いの場の代表者会実施 ・通いの場の大交流会実施 ・介護予防サポーターの集い実施 ・百歳体操以外の別メニューやレクリエーション、歌等の出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・2行政区は、地理の関係や公民分館がないことなどでなかなか実施に結びつかないが、公民分館以外で実施している百歳体操の紹介等を周知している。今後も立ち上げの支援を継続して実施していく。 ・理学療法士による体力測定結果のコメント入力や効果的な運動方法等の指導を実施した。 ・体力測定時にインボディ測定を導入するとともに、理学療法士及び管理栄養士による結果説明と指導を実施した。 ・休止状態が続いたクラブの再開ができた。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の通いの場が立ち上がらない2行政区の抱える問題が課題。 ・通いの場が2か所閉鎖された。 ・特に、男性の参加率が低い。 ・住民ボランティアによる移動支援。 ・通いの場へ参加希望があるものの移動手段がない。 ・体力測定実施日の出席率が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の通いの場が立ち上がっていない地区に向けて、介護予防の必要性などを説明し、立ち上げを支援する。 ・介護予防の必要性について広報を強化する。 ・男性専用の通いの場への周知も強化する。 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の連携により、さらに専門職による出前講座を充実させる。 ・住民ボランティア等による移動支援について引き続き検討していく。